

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇二〇年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二〇年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 一

問題一

問一 ア かい ① 記録 ② 規律

③ ふつど ④ 深刻

問二 ウ

問三 過去の清算をするという意味。

問四 エ

問五 事件を起こした「犯人」を特定すべきだと考えているから。

問六 南洋諸島の国の青年たちが、責任を自覚していると認めたから。

問七 過去の清算をした上で、未来をどうすればいいのかと考える視点がある点。

問八 話し合いの現場に出ると、現実直面することになり、自分自身の葛藤と向き合わざるを得なくな
り、それが解決につながると考えているから。

問九 ア オ

問題二

問一 ア 均等 ① さっそく ② みる

③ 台詞 ④ 過労

座席番号	
受験番号	
氏名	
合計得点	

二〇二〇年度 普連土学園中学校入学試験

二〇二〇年二月一日実施

国語 一次 解答用紙 二

問一
 いったんできるようになったことが、いつでも安定してでき、もはや後退することがない状態になったと考えている。

問二
 髪を染めることで気合いが入るとは思えず、見当違いだと考えている。

問四
 本当は実良が花壇を荒らしたはずなのに、知らないふりをしていると思ったから。

問五
 実良は、早弥に指摘され、練習を本気でしていなかったことに気づいたから。

問六
 ア

問七
 「スランプはもうじき必ず直るから、もうちょっと辛抱しろ」という言葉を、信頼している坂口先生からいただき迷いが消えたから。

問八
 実良の物事に対する受け止め方や表現の仕方が、自分のそれに比べて極端であるということ。

問九
 エ 「イ」には部分点があります。

問題三

- | | |
|---|---|
| 辞 | 案 |
| 服 | 長 |
| 類 | 目 |
| 制 | 期 |
| 博 | 察 |

問題四

- | | |
|---|--|
| イ | |
| ウ | |
| ウ | |
| エ | |
| ウ | |